

2021 年度第 2 回血液検査機器技術委員会 議事録

1. 日時:2021 年 10 月 8 日(金) 14 時 30 分～15 時 50 分
2. 場所:ZoomによるWeb会議(パシフィコ横浜 511 号室/512 号室:Wi-Fi:「SSID:
FREE-PACIFICO」)
3. 出席予定者(敬称略)
会場 Zoom:稲葉、常名、林、坂井・加藤、長濱、舟久保
会場外 Zoom:新保、久保田、高橋、増田、朝比奈、菅原、内藤、大川、井上、今田、
近藤、春日、鈴木、遠見、中山、久保、田中、大泉、下村
4. 欠席者(敬称略)
金子、齋藤
5. 議題
 - 1) 報告事項
 - (1) 新任委員:以下のように交替となった。
加藤 龍二委員→坂井 均委員(エイアンドティー)
岩村 京美委員→舟久保 博文委員(アイ・エル・ジャパン)
星野 勝信委員→田中 秀明委員(H.U.フロンティア)
 - (2) 2021 年度第 1 回血液検査機器技術委員会議事録確認を確認し、総会の中
で委員会報告を動画で行うと報告があった。
 - (3) 「委員会名の英語表記」として、Committee on Hematological Technology を
報告した。また、総会の中の委員会報告の動画の中にこの表記で盛り込ん
だと報告があった。
 - (4) 第 10 回(昨年度)のセミナー資料の HP 掲載について
前回会議の後すぐに資料を HP に UP したと報告があった。
 - (5) 第 11 回血液検査機器技術セミナーについて
 - ① テーマ:「各社自動血球分析装置の異常所見 2021」
 - ② 担 当:新保委員、常名委員
 - ③ 開催形式:現地で通常通り開催および進行、ただし会場に來れない演
者は自身の順番時に動画放映となります(その演者の質疑応答はな
し)。
メーカー2 社は動画放映、3 社目から現地発表となる。メーカー発表に

関しては質疑応答なしとした。

井上→常名→新保で発表が終わったらディスカッションの場で質疑応答をうける。

8:20くらいから現地準備し、8:30より受付開始予定とする。受付で、参加者に記名をお願いする。

- ④ オンデマンド配信予定(10/22～11/21)のためキャプチャ収録の予定。すでに発表者には承諾を得ている。ただし、企業委員の方々は再度確認を行う。
- ⑤ 会場参加のみを対象として、希望者にセミナー参加証明書を受付時に配布する(100枚準備)。

2) 審議事項

(1) 第12回血液検査機器技術セミナーについて

- ① テーマ:「クロスミキシングテストの参考書」
- ② 担当:下村委員、菅原委員
- ③ テーマ決定経緯:中小病院での実施率が低いので、普及率を上げることを目的にし、実施に対してのハードルを下げられるような内容とする。
- ④ 対象者:初級者から中級者
- ⑤ 案1:各測定装置の話は無し

5題×25分(講演20分+質疑応答5分)、総合討論なし
(合計2時間10分)

- ・実施前に押さえておくべきポイント
- ・実施にあたり押さえておくべきポイント
- ・結果解釈で押さえておくべきポイント
- ・実例を交えたコメントの書き方
- ・実症例を用いたクロスミキシングテストの解説

案2:各測定装置の話無し

案1と同じ演題5題×15分、質疑応答なし 総合討論30分
(合計1時間50分)

案3:各測定装置の話有り+実例

各社測定装置におけるクロスミキシングテストの特徴を5社×10分、案1の解説以外の4題×20分(講演15分+質疑応答5分)、総合討論なし

まとめ5分(合計2時間15分)

(別紙「第12回血液検査機器技術セミナー案」を参照)

テーマ設定の理由や、今後のことを考えると、案2が良いのではという

意見や講演の一部は Q&A に答える形式も考慮すべき、実症例を用いたクロスミキシングテストの解説としては、検体の取扱いのコンセンサスは取り上げたほうがよいのでは、また正常血漿の選び方やポイント数を迷われている施設の参考となるようにすべきでは、どのような症例でクロスミキシングテストを実施すべきかを加えてはどうかなどの意見が出た。再度、案 1、案 2 の構成を検討し、次回の委員会で報告を行う。

(2) 第 13 回血液検査機器技術セミナーについて

- ① テーマ:「血球計数装置の実運用」
- ② 担 当:朝比奈委員、大川委員
- ③ 内 容:各メーカーの装置を使用している施設から発表してもらおう
シスメックス:今田委員
シーメンス:朝比奈委員の施設の方
ベックマンコールター:日本大学病院(安藤さん)、杏林大学医学部付属病院(千葉さん)、聖マリアンナ医科大学病院(山崎さん)あたりから搜してみる。
アボット、堀場、日本光電:メーカーさんと打ち合わせの上決定する

2020、2021、2023 のセミナーで血球計数については一通りまとまると思われるので、補冊の発刊を考えている。

2022、2024 の内容で凝固の内容について補冊の発刊を考えたい。
第 15 回あたりでフローサイトをテーマにすることが提案された。

(3) 第 14 回血液検査機器技術セミナーについて

- ① テーマ:「凝固測定装置の特徴と実運用」
- ② 担 当:金子委員(確認予定)、下村委員
- ③ 内 容:凝固分析装置の特徴
同じ検体を同じ試薬を用いて違う装置で測定して装置の傾向を見ることができれば有用であるという意見が出た。その場合、一か所に装置を集めてデータ取りをする必要が生じ、実施可能な施設は限られる。
可能であれば、2020 年、2021 年、2023 年の血球計数のような内容で進めて行きたい。

(4) 第 15 回血液検査機器技術セミナーについて

- ① テーマ:「フローサイトメトリーの実際について」
- ② 担 当:稲葉委員、常名委員

- ③ 内 容:機種としては、BD、コールター、SONY などがあり、まだ時間移
余裕があるため検討を進める。
BD については今年度中に委員になっていただくよう常名委員から依
頼する。

以上